



平成 22 年 5 月 11 日

各 位

会社名 株式会社岡村製作所
代表者名 代表取締役社長 久松 一良
(コード番号 7994 東証 1 部 大証 1 部)
問合せ先 取締役企画本部長土志田貞一
電話番号 045-319-3445

中期経営計画について

当企業グループは、「情報化」「国際化」「専門化」を企業経営のキーワードに安定的経営基盤の構築、利益重視の効率的経営の実践、環境への配慮をはじめとする社会との信頼関係の向上を基本方針として経営活動を展開しております。

昨年度の業績および現在の厳しい経済状況などを勘案し、2012 年 3 月期を最終年度とする「中期経営計画」を策定いたしましたので、お知らせ致します。

1. 中期経営計画の目標

2010 年度の経済見通しは、各種指標では立ち直りの気配が見えるなど、やや明るさを取り戻しつつありますが、設備投資意欲は低い状況が続くなど、当社の経営を取り巻く経済環境は、依然として厳しい状況であります。そのような中、当社は、下記の基本戦略に掲げる重点事項を確実に実施し、業績向上を図ります。

本計画最終年度には、売上高営業利益率 3.3%、売上高経常利益率 3.6%の達成を目指して参ります。

また、およそ 5 年後をめどに、売上高 2,500 億円、営業利益 160 億円の目標を掲げ、海外事業拡大を含む成長戦略の立案に着手します。

経営目標値(連結)

	2011 年 3 月期	2012 年 3 月期
売上高	1,645 億円	1,800 億円
営業利益	28 億円	60 億円
経常利益	33 億円	65 億円
当期利益	19 億円	38 億円
株主資本利益率 (ROE)	2.4%	4.7%
総資本利益率 (ROA)	2.0%	3.9%

2. 中期経営目標達成のための基本戦略

(1) 損益分岐点の引き下げ

現在は資材価格の上昇局面に当たり、コスト管理の重要性がますます増しております。そのような中、当社は、これまで進めてまいりました OPS 活動を関連会社にも本格的に導入し、さらに効果をあげ、この2年間で35億円のコストダウンを図ります。

販売管理費の削減については、展示会への出展など、競争力向上のための施策を実施しつつ、業務の見直しを進め、2年後には売上高販売管理費比率の1.8%低下を目指します。

(2) 重点分野

1) 環境ビジネス

省エネ・エコ対策は、産業界にとって対応必須の課題となっております。

オフィス環境事業においては、Green Workplace のコンセプトの下、当社での実証実験を元にオフィスの生産性向上と環境配慮を両立させた提案を充実させ、テナントビルを含めた法規制への対応を進め、お客様の問題解決に貢献します。

商環境事業においては、省エネ型冷凍冷蔵ショーケースの開発をはじめ、総合的エネルギーコストの削減システムの提案により、店舗の省エネを実現します。

2) セキュリティ事業

全自動貸金庫に代表される金融機関向け各種セキュリティ機器の一層の充実や IC タグを用いた収納システムなどのオフィスセキュリティシステムについて、今後も大きな需要が見込めます。当社は、これまでの実績を元に、さらにお客様の使い勝手の良いシステムを開発し、需要を取り込んでまいります。

店舗におけるセキュリティシステムについては、専門部隊を拡充し、顧客ニーズをとらえ、トータルでの提案を充実させて参ります。

3) オフィス周辺市場の体制拡充

文教施設・劇場・ホール・図書館などのパブリックエリアにおける設備の充実は今後も期待されます。また、病院・高齢者向け施設などのヘルスケア分野も大きな市場になりつつあります。あわせて、大学や民間企業におけるラボラトリー（研究施設）分野も競争力強化に向けての多くの投資が計画されています。こういった中、当社は、これらの分野における開発・営業・調達一体となった専門組織を設置し、提案活動を展開して参ります。

4) 海外事業

今後の成長には海外事業の拡大が欠かせないとの認識から、これまでの経験を踏まえ、米・欧・アジア三極での本格的な調達・販売体制の構築に向けた基礎固めを行います。

直近では、中国における日系流通業の進出に対応する体制づくりを推進いたします。

以 上

(ご参考)

セグメント別売上高 (連結)

	2011年3月期	2012年3月期
オフィス環境事業	930億円	1,035億円
商環境事業	610億円	640億円
物流機器事業他	105億円	125億円
合 計	1,645億円	1,800億円